

# 市長に問う

— 代表質疑から —

2日間にわたり、4人以上で構成される4会派の代表が平成29年度予算議案などについて質疑を行いました。詳しくは市議会ホームページの「議会で中継(録画放映)」をご覧ください。(スマートフォンをお持ちの方は、QRコードからアクセスできます。)

2月24日  
自由民主党千葉市議会議員団  
未来民進ちば



2月27日  
公明党千葉市議会議員団  
日本共産党千葉市議会議員団



## 自由民主党千葉市議会議員団



### 普通教室へのエアコン整備に対する考えは

**問** 我が会派は普通教室へのエアコン整備を要望しているが、現在の計画では整備は見込まれていない。音楽室等へのエアコン整備に、あと4年かかるとのことだが、昨今の猛暑に鑑みると、普通教室への整備に対する保護者からの要望も十分理解でき、音楽室等の完了を待ってられない状況である。こうした中、新年度予算案で普通教室のエアコン整備費を計上しなかったが、その理由は。

**答** 教育環境の整備に当たっては、児童・生徒の安全確保等を第一に考え、外壁改修などの老朽化対策やトイレ便器の洋式化などを最優先に実施している。今定例会に「学校教育審議会」の設置条例議案を提出しているが、重要課題の一つとして、



普通教室のエアコン等を含む学校施設について審議いただく。このため、当初予算に整備費を計上していない。

### 国民健康保険事業特別会計などの厳しい収支状況の理由は

**問** 本市の国民健康保険の収支状況は全国的にみても特に厳しく、依然77億円もの累積赤字を抱えている。ここまで多くの赤字が累積したのはなぜか。

また、病院事業においては、平成25年度から3年連続の赤字決算により、累積欠損金の額は48億円を超えている。ここまで累積欠損金が増えた理由は。

**答** 本市の国民健康保険事業は、医療費の増加が続く中、保険料の長期間据え置きなどにより自主財源が不足し、一般会計からの繰り入れに依存せざるを得ない状況であった。このような中、平成19年度からの4年間は一般会計の状況が厳しく、収支不足を繰入金で全て補填することができず、赤字が累積する結果となった。

また、病院事業においては、診療報酬改定による影響のほか、本市固有の要因として、看護師等の増員や設備投資などを進めた結果費用が増加したが、青葉病院での看護師不足

による一部病床休止や、海浜病院での心臓血管外科手術の中止の影響などもあり、収益を見込みほど増加させることができず、収支の悪化から多額の欠損金を抱えた。

### 外国人学校地域交流事業補助金の交付中止を

**問** 5年連続で予算計上されている外国人学校地域交流事業補助金は、対象が千葉朝鮮初中級学校1校のみで、事実上、同校のための補助金である。北朝鮮による度重なるミサイル発射などについて解決に向けた進展が全く見られない中、北朝鮮との強い関係にあるとされる同校への交付は市民に全く理解されないもので、即刻中止すべきである。補助金を支出しない近隣自治体も増えている中、市長が支出にこだわる理由は。

**答** 本市としても、これらの北朝鮮の行為は国際的に大変許しがたいものと考えているが、補助金は、外国人学校が地域社会に溶け込むための地域交流の促進を目的とし、会派を超えた議員からも要望があり実施しているものである。今後も、外国人学校が地域交流事業を継続して実施する場合は、それが補助金の趣旨・目的に沿った内容であるかを適切に確認し、支出していくことになる。

## 未来民進ちば



### 熊谷市政2期目の総括と、市制施行100周年に向けた将来ビジョンは

**問** 今議会は市長2期目最後の定例会となり、また、市長は選挙への再出馬を表明しているが、2期目の総括と、平成33年の市制施行100周年に向けた将来ビジョンを伺う。

**答** 2期目の総括としては、財政状況の着実な改善や、保育所待機児童ゼロの2年連続達成など、数字で示せる大きな成果を挙げることができた。また、本市の目指すべき都市像の骨格を「総合戦略」などとして提示することができたと思う。

市制施行100周年に向けては、財政健全化とのバランスを取りつつ未来への投資を行い、「自立した“ちば” 共創都市圏を支え、活力の中心となる都市」という都市像を具現化し、芽から幹へと成長させることで、未完の政令市と呼ばれた千葉市を全国に誇れる魅力あふれる都市へと完成させたいと考えている。

### 新たな競輪事業の検討状況は

**問** 競輪事業においては、現在の委託事業者からの提案を受け、幅広い新規ファンを開拓し、売り上げ向上など

を図るための新たな競輪の実施について、今後の選択肢の一つとすべく関係団体等との検討作業に着手した。新たな競輪の取り組みには期待が膨らむところではあるが、十分な検討が必要である。そこで、関係団体との調整状況と今後の取り組み、実施に向けた課題等を伺う。

**答** 屋内木製250メートル走路を使用し、国際大会で実施する競走ルールに基づく、新たな競輪の実施に関する調整状況については、現在、関係団体と本市などによる検討会議内のワーキンググループにおいて、新たな競輪に関する実施素案の作成に向けた調整を進めている。新たな競輪の実施については、競輪に関する重要事項の意思決定機関である競輪最高会議での決定を経て、より具体的な調整作業に入ることとなる。

課題としては、新たな競輪が公営事業とし



千葉競輪場でのレースの様子

て成立し、健全な経営を継続できるかどうかの検証に加え、新たに整備する施設について、関係法令上の位置付けや、現在の競輪場敷地内にある国有地との関係などを整理する必要があると考える。今後は、事業計画や収支の検証を引き続き進めるとともに、各関係機関との協議を進め、課題等を整理していく。

### 地域包括ケアシステム<sup>※1</sup>推進のため、全庁横断的な取り組みを

**問** 地域包括ケアシステムは、地域住民を主役とする安全・安心なまちづくりそのものであり、その推進には縦割りを超えた全庁横断的な取り組みが重要である。そうした中、現在は各局で別々の施策を進めていることから、地域が主体的に取り組むための支援策が求められると考えるが、今後のあり方は。

**答** 施策によっては、類似会議の開催や依頼の重複などにより、混乱や負担が生じている地域もある。そこで、現在、地域運営委員会<sup>※2</sup>を所管する市民局を中心に、地域が主体的に地域運営を行えるよう、市側の連携体制を構築したところである。今後は、庁内での情報共有の強化、地域へのアプローチ手法の一元化などに取り組んでいく。